



絆を深める =塾長HPより=



9月4日に播磨民間教育ネットワークでは、「生徒が感動する教室づくり」の発表会があった。加盟する7塾のプレゼンテーションがあったのだが、多くのことを学ばせていただいた。暗記王決定戦をA-1 グランプリと銘打って夏期合宿を盛り上げた塾、わずか24歳の教室長の奮戦、半年で生徒数を倍増させた教室責任者など感動的な話が多くあった。

その中でわが塾エクシードは、「学生講師の試み」というテーマで発表する機会をいただいた。他の塾はすべてのプレゼンターが専任講師=会社員であったのだが、その中で学生アルバイト講師の発表は新鮮味があるとの考えで、取ってチャレンジさせた。

最後に登壇した4人のプレゼンターの面々は、120人もの聴衆がいる中、実に堂々としたものだった。彼らが練習をしているところは何度も見てきたのだが、要領を得ず実のところうまくやれるのかと心配だった。ところがどうだろう。本番ではほぼ100%を出し切ったように私には思えた。発表した4人の学生講師にはそれぞれに受け持ちがあり、話す内容や発する言葉も何度も話し合いながら手直しし、本番に至ったという。しかも15分間の持ち時間まるで計ったかのようにきっちりで終えた。

結果は優秀賞ではなかったものの、「審査員特別賞」をいただいた。しかし、私の中では優秀賞だった。専任講師の中で物おしせず奮闘していた彼らは生き生きとしており輝いていた。授賞式の後、中心的にプレゼンテーションをすすめていた女性講師が「塾長は感動していましたか?」とすぐに聞きに来て、「感動していたよ」という返事をするとうごく喜んでくれたという話を聞いた。表彰式の時、表彰状と賞金の入った祝儀袋私にむけた笑顔は最高だった。今、塾にはそのシーンの写真が飾られている。

この「生徒が感動する教室づくり」は、各塾の成功事例を発表したものだが、成功するにはキーワードがある。それは「努力」。「努力」とは目的を達するため力を尽くし励むこと。そして、他の者がしえないことをする実行力だ。校門配布を年間77回もする塾もあれば、配るチラシや配布物、それに配る時期に独自の工夫を凝らしている塾もある。結局、生き残る塾は動いている=実行力があるということだ。私たち 塾人が担うこと。それは教育の「育」つまり「コーチング」にある。生徒を育て、はぐくみ生徒の中に潜んでいる無限の可能性を導き出す。私はそれに限りない喜びを感じる。「できた!」「わかった!」「エクシードに来てよかった」そんな声私たちの支えであり、喜びである。そして、この発表会を通じて講師との絆が一層深まったと思うのは、私だけだろうか。

(「第2回播磨民間教育ネットワーク生徒が感動する教室創り」より)

## ■台風12号による臨時休講の振替授業

9/2(金)⇒9-30(秋分の日) 9/3(土)土曜特訓⇒9/23(金)秋分の日



## ■休業日と振替

9/19(月)敬老の日⇒振替 9/29(木) 別府教室は9/19(月)通常授業は実施します。

## ■授業実施 9/30(金)秋分の日は通常授業を行います。

## □大雨の浸水による休業のお詫び

この度の台風12号による大雨で、別府教室は床上浸水し、生徒の皆さんには臨時休講とか、タイルカーペットのノリのためたいへんなご迷惑をおかけしました。9日にタイルカーペットの張替えも終わり、部屋の泥臭いにおいもほとんどなくなりました。スリッパもすべて新品に入れ替えましたので、新しい気分で頑張りましょう。

## □土曜特訓

10日(文系科目)・23日(金)秋分の日<理系科目>・24日(文系科目)

## □第8回 EXCEED ボーリング大会

9/25(日)ラウンドワン加古川 午後1時半集合 午後2時ゲームスタート

3ゲームトータルで順位を決定します。

賞品 1位~10位・20位・30位・40位・50位塾長賞・ベストパフォーマンス賞など。

参加者全員に参加賞とE君Tシャツプレゼント。

女子には1ゲーム(につき20点のハンディがあります)

## □エクシードの講師「第2回Penharima生徒が感動する教室創り」で

「審査員特別賞」を受賞。



### ☆発表者

秋元友里(講師トレーナー)

福原隆介(講師トレーナー)

山中拓也(講師リーダー)

於:姫路労働会館 9/4(日)

